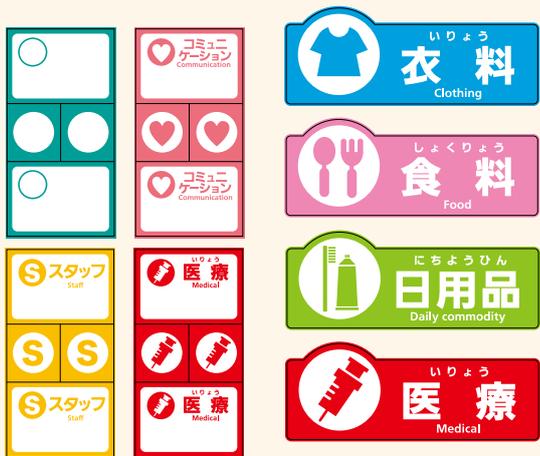


The 9th

MEDIA UNIVERSAL DESIGN COMPETITION



第9回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション



マーク	マークの意味	見つけた
	「おなかの中に赤ちゃんがいます」ということを知らせるマークです。	
	目に障がいがあるお友達ともいっしょに遊べるように、工夫されたおもちゃであることを表すマークです。	
	目に障がいがあるお友達ともいっしょに遊べるように、工夫されたおもちゃであることを表すマークです。	
	体に障がいを持っている人が、遊ばせるときに身につけるマークです。	
	目に障がいを持っている人が、遊ばせるときに身につけるマークです。	
	体の中など、見ただけではわからない障がいを持っている人のためのマークです。	
	災害や火事などが起こったときの、逃げるための出口を示すマークです。	
	「補助犬いっしょにお出かけします」ということを表すマークです。	
	お年寄りや、障がいをもつ人にやさしい環境である経営を受け入れた建物に表されています。	
	目に障がいがある人がつかれるマークです。また、このマークがある建物でも、車いすでもありません。	
	目に障がいを持つ人のために工夫された場所であることを表すマークです。	
	障がいをもつ人が利用できる場所にあるマークです。	
	AED (自動体外式除動器) の場所を示しているマークです。	
	ここでタバコを吸ってはいけないことを表しています。	



まえがき

全日本印刷工業組合連合会教育・研修委員会では、2015年12月に開催いたしました「第9回メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) コンペティション」におきまして高い評価を得た作品を、受賞作品集として冊子にまとめました。

今回は全国から275点(一般部門:76点、学生部門:199点)と多数の作品の応募をいただきました。これらの作品については審査会で厳正なる審査が行われ、全20点の受賞作品が決定いたしました。

それぞれの受賞作品には審査委員長・伊藤啓氏による講評を掲載していますので、メディア・ユニバーサルデザインについてさらに深くご理解いただくためのツールとしてご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、本コンペティションの趣旨にご賛同いただきご後援・ご協力を頂戴しました官公庁・企業・団体の皆様、および作品のご応募を頂戴しました皆様、審査会にてご参加いただきました審査委員の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

全日本印刷工業組合連合会
会 長 島 村 博 之
教 育 ・ 研 修 委 員 会
委 員 長 土 屋 勝 則

第9回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 講評

審査委員長：東京大学分子細胞生物学研究所 脳神経回路研究分野
准教授 伊藤 啓

9回目を迎えたメディア・ユニバーサルデザインコンペティションでは、前回を上回る多くの応募を得た。一般の部では、試作レベルの作品でなくすでに製品として市販化されている作品が複数入賞するなど、メディア・ユニバーサルデザインの概念が社会に浸透し始めていることが伺える。学生の部では新しい発想に基づく作品もみられたが、ここ数年の傾向である、全体的に小粒な作品が多い状況は変わっていないことは非常に残念である。作品自体の出来が悪くなくても、プレゼンテーションの程度が低く、作品の特徴や工夫点が伝わりにくい作品も多かった。「学生だから」と甘えず、「学生だから」と強い意識を持ってプレゼン資料を作成してほしい。

今回も防災関連や外国人への情報提供関連の作品の応募が多かった。2020年の東京オリンピック／パラリンピックが近づく中、2015年の訪日外国人客数は1973万人に達した。アジア等の非英語圏の外国人客、有名な観光地ではなく日本人の日常生活に興味を持つ外国人客が増え、学生の部の優秀賞受賞作品にあるようなバスの乗り方や食券販売機といった

日本人の生活にも大きく関わる部分で、メディア・ユニバーサルデザインを用いて多様な利用者への使い勝手に配慮した標識・案内を設置する必要性が高まっている。また、2016年4月からはいわゆる「障がい者差別解消法」が施行されるので、視力や色の見分けやすさにハンディを持つ人に対してメディア・ユニバーサルデザインが果たせる役割はますます大きくなっている。

コンペティションの最近の課題としては、一般の部の応募が減少している点が挙げられる。コンペティションの性質上、目新しいアイデアの作品が評価されがちだが、既存の製品のメディア・ユニバーサルデザインによる改良も今後しっかりと評価していきたい。できれば改良前と改良後の作品を比較用に提出してもらいたい。応募については都道府県によってかなり差があり、毎年独自にコンペティションを開催し、何十作品も応募する県もあれば、何年も1作品の応募もない県もある。如何に多くの地域から作品を応募してもらおうか、次回のコンペティションでは検討してもらいたい。

避難所サポートセット

大阪シーリング印刷株式会社

杉原 啓二、岡田 智子、山田 あゆみ、池田 恒、勝山 優行、坂本 綾香、乗松 めぐみ (大阪府)



工夫点

身近なシールや、紙器を用いて、不安や不便さの多い避難所生活を改善できるように工夫を凝らしました。設備や情報を整理するだけで大きく変わることに、それには、

予めの準備や、設営の初動が大切であることを感じていただき、これからの避難所が改善されていくのに役立てればという思いを込めた作品です。

講評

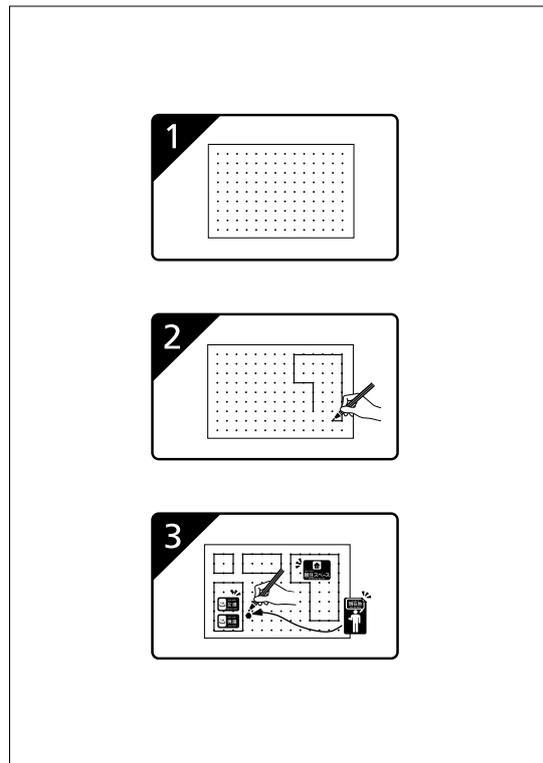
災害時に避難所を設営する際に必要な、備品や各スペースなどを案内するためのシールやポップ、テープ類をひとつにまとめた作品。避難所を設営する側からみると、混乱の中でこのようなアイテムがあれば作業が円滑に進められる一方、避難者にとってもコピー用紙に手書きした案内でなくこのような事前によく配慮された案内掲示によって、単なる情報伝達だけで

なく気持ちを明るく元気にするという効果もあり、とても良い作品だと思う。避難所では薄暗い場所でこれを使わなければならない場合もあるので、それでも見えるか検証する必要もあるし、避難所に合わせて各種アイテムの数や大きさ等の工夫も必要になるだろう。これ以外にも必要になってくるものも合わせ、シリーズとして充実をはかって行くことも可能だろう。

体育館や公民館には避難所としての機能が求められている。非常食糧などだけでなくこのような案内掲示アイテムも、必須の備蓄物として導入を検討する価値がある。将来性のある話なので、様々な業種の人にも見てもらい、内容の充実や普及の方法を考えてほしい。



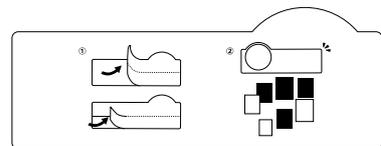
どこどこシール



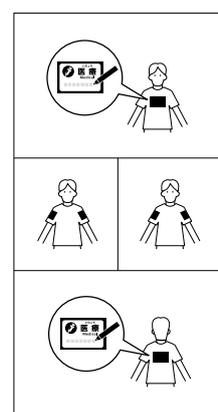
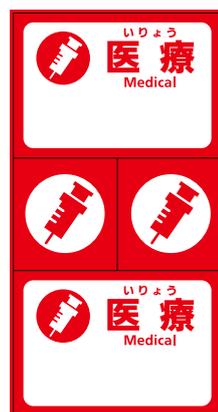
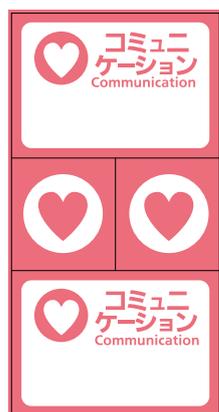
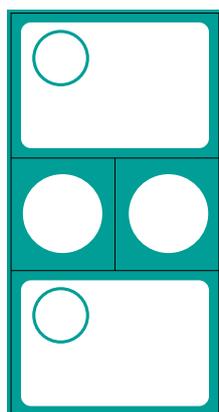
裏面



掲示POP



裏面



だれだれシール

裏面

遊んで学ぼう！みんなのマークカルタ

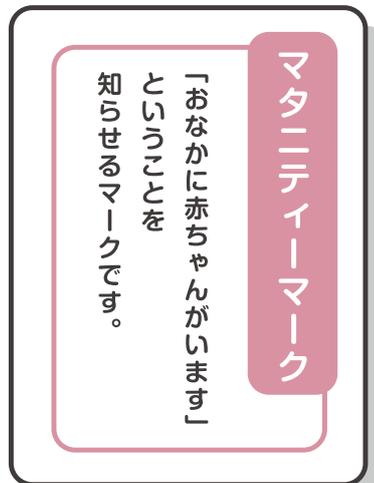
静岡デザイン専門学校

徳久 友希 (静岡県)

マークのカード



意味のカード



【カードのバリエーション】



工夫点

町でよく見かける様々なマークをカルタにする事で、遊びの中で楽しくマークの知識を身に付ける事ができると共に、障がいをもつ人への意識も高まると思います。

講評

メディア・ユニバーサルデザインに配慮した、トランプやUNOといったカードゲーム、標識やマークを紹介する啓発ポスターやパンフレットなどは毎回多数の応募があるが、この作品のように標識やマークを覚えることがゲーム

の成績につながるといったものは珍しい。ゲーム感覚で学べ、これをきっかけに色々なマークに興味を持つきっかけになれば、その教育効果は大きいだろう。これまでも小学生などを対象に標識やマークの教育は行われてきた反面、大人

への周知・啓発は不十分であり、マークを知らない、覚えていないという人も多い。今後の対応が急がれる。社会問題を解決したいという意図を感じる、優しさのある作品である。

遊んで学ぼう! みんなのマークが来た。

マーク	マークの意味	見つけた
	「おなかの中に赤ちゃんがいます」ということを知らせるマークです。	
	目に障がいがあるお友達ともいっしょに遊べるように、工夫されたおもちゃであることを表すマークです。	
	耳に障がいがあるお友達ともいっしょに遊べるように、工夫されたおもちゃであることを表すマークです。	
	体に障がいを持っている人が、運転をするときに車につけるマークです。	
	耳に障がいを持っている人が、運転をするときに車につけるマークです。	
	体の中など、見た目ではわからない障がいを持っている人のためのマークです。	
	地震や火事などが起こったときの、逃げるための出口を表しています。	
	「補助犬もいっしょにお店へ入れます」ということを表すマークです。	
	お年寄りや、障がいをもつ人にやさしい建物であるの認定を受けた建物に表示されています。	
	耳に障がいがある人がつけるマークです。また、このマークがある場所では、筆談などでも対応してくれます。	
	目に障がいを持つ人のために工夫された場所であることを表すマークです。	
	障がいをもつ人が利用できる場所にあるマークです。	
	AED（自動体外式除細動器）の場所を示しているマークです。	
	ここでタバコをすってはいけないことを表しています。	

【マークの一覧表】

箱の中にマークとマークの意味が書かれている一覧表を入れます。冷蔵庫や壁に貼ることでもいつでもマークの意味を確認することができます。また、表には「見つけた」という項目も作り、町や施設でマークを見つけたらそのマークの欄にシールを貼っていきます。子供は何かを探したり、シールを貼ったりすることが好きなので、日々の生活の中で楽しくマークを意識する習慣がつかはすです。



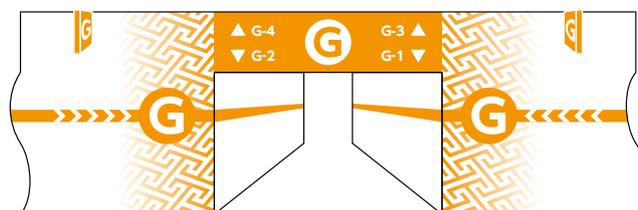
【シールのデザイン】

子供が貼りたくなるような、明るい色合いの可愛らしいデザインにします。

色と形でマッチング「安心・楽々座席誘導」

株式会社新聞印刷

小田川 郁夫、伊藤 豊、竹内 健二、土屋 武義、上野 真悟 (大阪府)



工夫点

2020年に東京オリンピックが開催されます。各会場（スタジアム）には諸外国の方をはじめ、多数の人が集まります。そこで、人混みでも安心して自分の座席に着けるように、お手持ちの入場チケットとスタジアム内外での色と

形をリンクすることにより、入場から座席までの迷いを解消！チケットの様子は日本伝統文様にし、日本のことを知ってもらえるように裏面に紹介文を付けました。A~M表示の中で (I) は数字と間違えやすいので、あえて外しました。

また、チケットのQRコードをスマートフォンで読み取り、座席と自分の位置を表示、スマートフォン（QRコード読み取り機能）をお持ちでない方は、チケットに表示してある入口図とブロック図でわかりやすく工夫しました。

講評

チケット、会場の観客移動の動線上の案内サイン、座席をリンクさせた誘導法の提案である。チケットの絵柄、デザインは綺麗で吉祥柄の模様の名前も英文で書いてあり、外国人の興味も引き、記念に持って帰りたくないのか。オリンピックのスタジアム

に限らず、ホールやアリーナでも応用が利くアイデアと出来映えの作品である。印刷できる色で座席を塗っておく必要があるので、座席の材質や背後の壁の塗装なども会場の建設／改修時に検討しておく必要がある。観客を指定座席まで円滑に誘導することは、オリ

ンピックに限らず各種イベントにおける大きな課題であり、建物のデザイン・設計の段階でここまで考えておかないと上手くいかないということに関係者は再認識してほしい。

アイコンで本を探そう！

大阪シーリング印刷株式会社

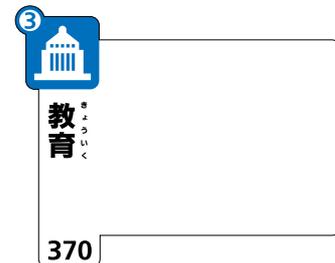
秋月 崇志、中嶋 健一郎、富田 美奈子、町田 愛子、白川 舞、北野 紗代 (大阪府)

ようこそ！図書館へ！
当図書館では「日本十進分類表」をもとに本を管理しています。
お探しの本まで分類のアイコンを振りにおすすみください。

日本十進分類表				
0	1	2	3	4
000 総記	100 哲学	200 歴史	300 社会科学	400 自然科学
010 図書館、図書館学	110 哲学各論	210 日本史	310 政治	410 数学
020 図画、書誌学	120 西洋思想	220 アジア史、東洋史	320 法律	420 物理学
030 百科事典	130 西洋哲学	230 ヨーロッパ史、西洋史	330 経済	430 化学
040 一般論文集、一般講演集	140 心理学	240 アフリカ史	340 財政	440 天文学、宇宙科学
050 遠次刊行物	150 倫理学、道徳	250 北アメリカ史	350 郵政	450 地球科学、地学
060 団体	160 宗教	260 南アメリカ史	360 社会	460 生物科学、一般生物学
070 ジャーナル、新報	170 神道	270 オセアニア史、南極地方史	370 教育	470 植物学
080 書画、全集、遊覧	180 仏教	280 伝記	380 民俗習慣、民俗学、民族学	480 動物学
090 貴族書、地誌、地誌、その他	190 キリスト教	290 地理、地誌、記行	390 国防、軍事	490 医学、薬学
5	6	7	8	9
500 技術・工学	600 産業	700 芸術	800 言語	900 文学
510 建築工学、土木工学	610 農業	710 彫刻	810 日本語	910 日本文学
520 建築学	620 園芸	720 絵画、書道	820 中国語、その他の東洋の諸言語	920 中国文学、その他の東洋文学
530 機械工学、原子力工学	630 養蚕業	730 版画	830 英語	930 英米文学
540 電気工学、電子工学	640 畜産業、獣医学	740 写真、印刷	840 ドイツ語	940 ドイツ文学
550 海洋工学、船舶工学、兵器	650 林業	750 工芸	850 フランス語	950 フランス文学
560 金属工学、鉱山工学	660 水産業	760 音楽、舞踏	860 スペイン語	960 スペイン文学
570 化学工学	670 畜産	770 演劇、映画	870 イタリア語	970 イタリア文学
580 製造工学	680 運輸、交通	780 スポーツ、体育	880 ロシア語	980 ロシアソヴィエト文学
590 家政学、生活科学	690 通信事業	790 雑芸、演劇	890 その他の諸言語	990 その他の諸文学



壁面用 POP



仕切り POP



棚上 POP



背ラベル

工夫点

図書館ならではのルール「日本十進分類法」に着目し、子供から老人まですべての利用者に対して、手軽に本を探すことを目的としました。現状、文字と数字のみで構

成されている日本十進分類法に視覚的要素であるアイコンを使用し、入館から本までの導線に新たな要素を加えました。作品は分類表、案内図、壁面用 POP、仕切り

POP、棚上 POP、背ラベルの6点です。それぞれにアイコンを加え、利用者にわかりやすい表示を意識しました。

講評

公共図書館の指定管理者が独自の図書分類法を導入して問題になっている最中での、非常にタイムリーなテーマである。この騒動は日本十進分類法という日本の図書館で広く使われている図書分類法が、一般利用者の認知度が低く

馴染みがないことに起因しているが、この作品はその欠点をアイコンと色分けによって補い、分かりやすくしている。アイコンを背ラベルの印刷ソフトや請求記号とリンクすると、さらに使いやすく実用性があるものになるだろう。書

籍出版業界と印刷業界は切っても切り離せないが、図書館業界にとって印刷業界はアウトサイダーである。外部からの提案と上手くコラボレーションできるかが大きな課題である。

2016 Super Form カレンダー

企画：有限会社みさとみらい21 中野 俊美 (埼玉県)
印刷：三郷コンピュータ印刷株式会社



工夫点

極力シンプルにした大判の玉カレンダーで、視力の弱い方や、遠くからも見やすいことを念頭に制作しました。月の色も交互に変えることで変化をつけると同時に、健常者の方から、色覚障がいのある方まで、大きく変わって見えない色を選定することで、誤認を予防する効果を狙いました。週末や祭日の表現も、ハッチングを効果的に使い、わかりやすくしています。また、無機質になりがちな玉カレ

ンダーの書体も柔らかみのあるデザインのものを用い、安息感を与えつつ、一部「書体のセリフ」部分をカットする加工を加え、数字の読み間違いの起こりにくい配慮を行いました。

形態は横長の蛇腹仕様にするこ
とで、ひと月の表示はもちろん、
使われる方の都合に合わせて、
3ヶ月でも12ヶ月でも一挙に掲
示できるようにしました。ひと月
毎にミシン目も入っているので、

切り離してお使いいただくことも
可能です。また、長尺で一挙に印
刷すると共に、画鋏などで留める
為のピンホールをマージナルパン
チで上部前面に開け、耐久性や刺
しやすさにも配慮しました。

フォーム印刷会社である自社の
持つ機能と特徴を最大限に活用す
るアイデアを練ったことで、自
社内完結が可能となり、コストも
抑えることができました。

講評

広げると長さ8.8mにもなる巨
大でダイナミックなカレンダー。
カレンダーも毎回多数の応募があ
るテーマのひとつだが、横に長い
作品は今までに見たことがなかつ
た。フォーム印刷における、長い
巻取紙、用紙を送るための穴、折

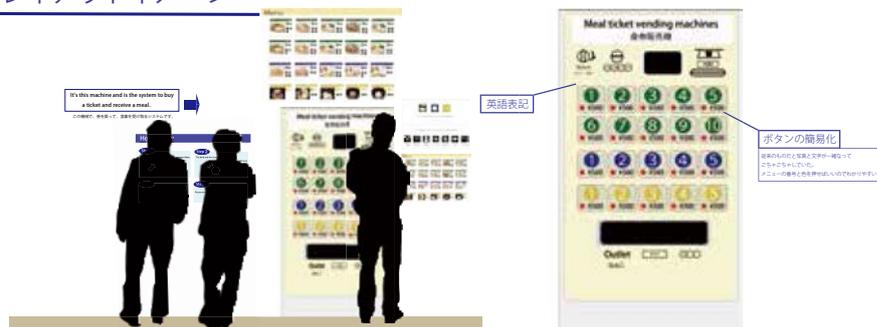
りたたみ・切離し用のミシン目と
いった特徴を、作品のオリジナリ
ティとして上手く生かしている。
文字は大きく分かりやすく、デザ
インもよく考えられている。分か
りやすく配慮された色調で、異な
る情報を分かりやすく伝えること

ができています。この作品の特徴を
最大限に活かすなら、学校の廊下
や工場の壁などに12ヶ月分すべ
て広げて掲示するのが良いかも知
れない。

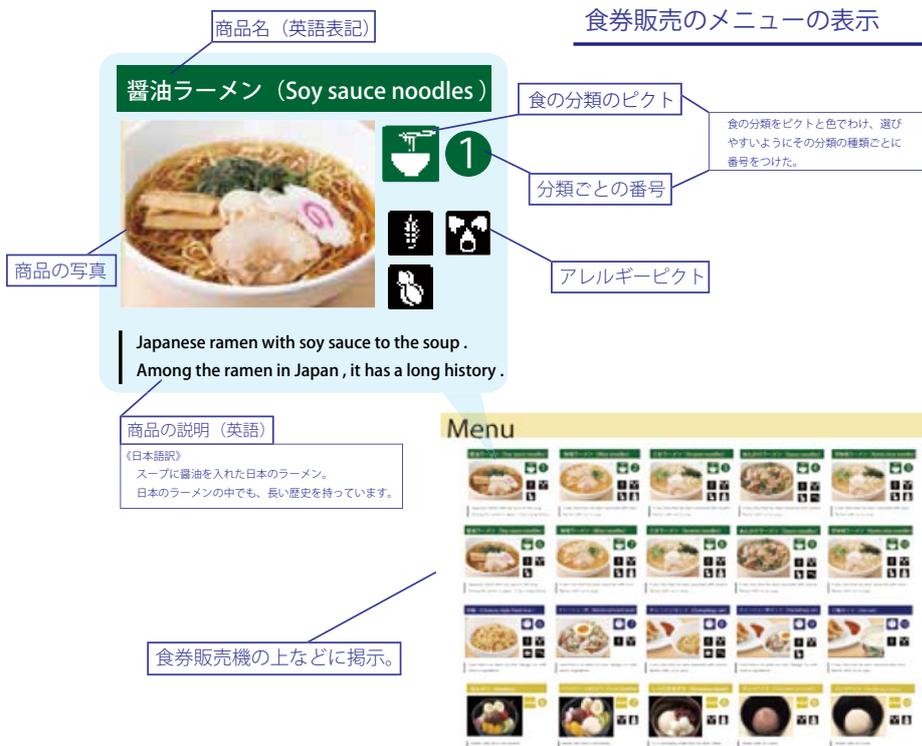
外国人に考慮した食券販売機とその案内の提案

大阪市立デザイン教育研究所
中西 有紀 (大阪府)

レイアウトイメージ



食券販売のメニューの表示



工夫点

どんな人が見ても、食券販売機の使い方がわかるように工夫しました。

アレルギーは特に、その食材が含まれていることに気づかずに食べてしまっは大変なので、7大アレルギーのピクトグラムをオ

ジナルで作成しました。また、食事の分類を三種に分けてオリジナルでピクトグラム化することで、英語ができなくてもなんとなく、どんな食事かわかります。食券販売機はメニューと連動させていて、今までよりわかりやすくする

ために単純化しました。

シミュレートをして、色覚障がいを持っている方でも、問題なく使えるような色を使いました。券売機の提案だけでなく、買い方の提示までしているところも工夫点です。

講評

外国人観光客が増加し、飲食店の多言語メニューの対応が急がれる中において、アイコンを上手に活用することが重要になる。その一つの提案として大きな意義のある作品。デザインの細部にはまだ

改良しうる点もあるが、オリジナルのピクトグラムも大胆で、文字が読めなくても写真とピクトでアレルギー等の情報が伝わる、すぐ使えそうな完成度の高さである。以前は、メニューは料理の名前と

見た目だけ分ければよかったが、今はアレルギー成分の他にも、宗教上の禁忌、ベジタリアンに対応する情報を提供する重要性も高まっている。このような点にも配慮するとさらに申し分ないだろう。

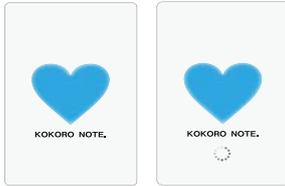
KOKORO NOTE.

大阪市立デザイン教育研究所

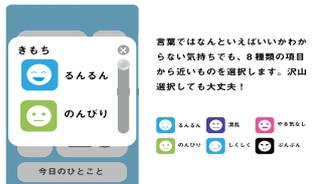
川浦 悠花 (大阪府)



起動画面



きもち (ポップアップ表示)



くすり (ポップアップ表示)



スクロールボタン



ホーム画面

ここを押せば、記録してきた事が全てプリントアウトされます。病院の先生に見せる立派な資料になります。

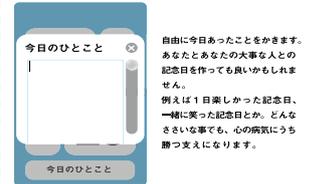
こころ (ポップアップ表示)



からだ (ポップアップ表示)



今日のひとこと (ポップアップ表示)



工夫点

KOKORO NOTE.は、自分の日記をつけるためのアプリではなく、自分の周りにいる人の様子を記録するアプリです。全く新しい考えのこのアプリは、誰もが使いやすいように、色の工夫はもちろん、高齢者に多い白内障の方にも見やすい工夫がされています。そして文章による記録はほとんど無くし、視覚的に

理解しやすい絵文字を採用しました。

社会的な背景として、いま自分自身の心や身体の悲鳴に気づく事ができないまま心の病を抱えて生きる人が数多くいます。日本には自ら命を絶ってしまう人が年間何万人もいます。その心の声に、いち早く気づく事ができるのは、周りにいる家族や友人ではないでしょうか。

スマートフォンが普及した今だからこそ、簡単に様子を記録できるようなアプリが必要だと考えました。

アプリに記録した1日1日の様子は、蓄積され、病院に持ち込めば貴重な資料となります。早期発見に一役買うことが期待されます。

講評

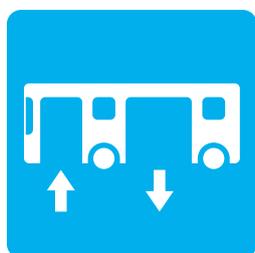
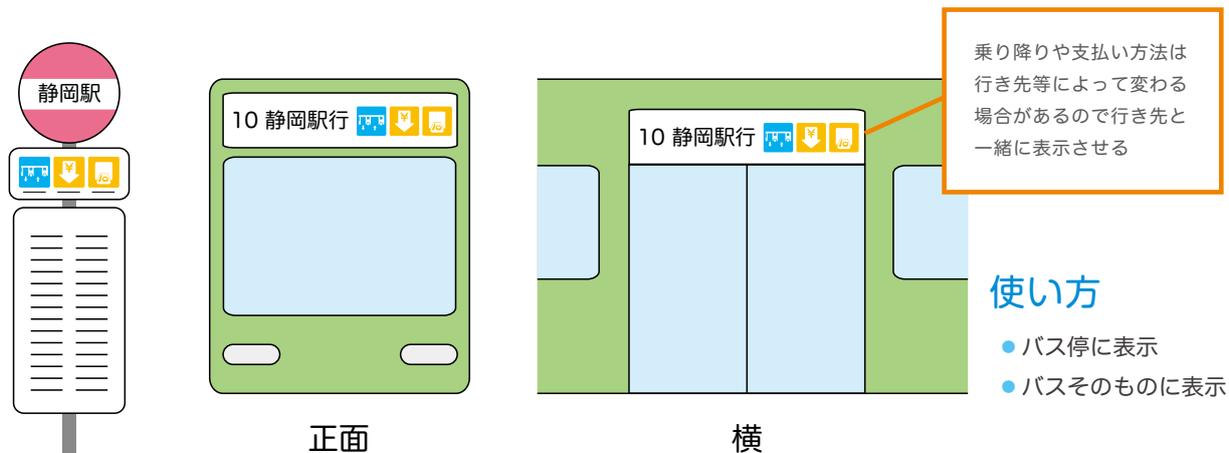
自分自身でなく身近な家族や友人の日々の様子を継続的に記録することで、データとしてその変化を確認することができるようにした作品。1日単位では気付きにくい小さな変化でも、月・年単位で

見れば、劇的な変化をしていると分かることがある。入力メニューは継続性を重視してアバウトになっているが、何か月も決まったものを記録するので、立派な記録になる。数値ではなくアバウトな

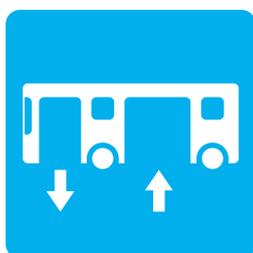
描写を入力するのは面白いアイデアといえる。啓発系のアプリの作品の応募はこれまでもあったが、記録系の応募は珍しく、新しく重要な視点だ。

バス乗車方法ピクトグラム

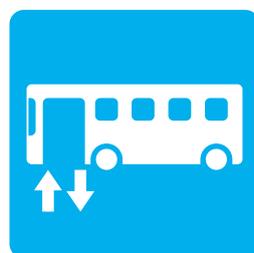
専門学校浜松デザインカレッジ
鈴木 里菜 (静岡県)



前乗り・後降り



後乗り・前降り



前乗り・前降り



先払い



後払い



整理券有り



料金一定

工夫点

知らない土地や初めて使うバスで乗り方を困らないようにするために、誰もが分かりやすいピクトグラムを制作した。

講評

初めて来た場所、知らないバス会社を利用する時に、乗り方に迷った記憶のある人は多いだろう。乗車、下車は前からなのか後ろからなのか、運賃は先払いか、後払いかといった利用方法が会社や路線によってばらばらなうえ、

案内表示も統一性がなく分かり辛い。この作品はその問題を大胆なピクトグラムを用いて分かりやすく案内することを提案したものである。いくつものバス会社や路線が入り組んでいる場合を考えると、バス停ごとにこのピクトグラムが

あるのが理想だろう。屋外で見えやすいかどうか、色使いに検討の余地があるだろうが、着目点の良い作品なので、是非バス会社に発信して欲しい。

檜原東店 10th DM 第1弾

株式会社スタジオオーネ63 (東京都) 織田 由佳子

講評

ありふれたダイレクトメールに見えるが、MUDに考慮して制作されている。単に文字のフォントを変えるだけではなく、こういった配置にするか、縁取りにする

か考えているので、情報が多く字が小さくてもクリアに見える。高齢者の目にもパツと入ってくるので、毎日山のように入ってくるダイレクトメールの中でも、

受け取った方たちの見る率は非常に高いのではないかと。ルーチンの日々の活動の中で、MUDに配慮していくことが非常に大事であることがよくわかる作品。

静岡県自転車ルールブック

杉山メディアサポート株式会社 (静岡県) 山崎 翔太、本田 晶子

講評

近年の自転車に係る事故の増加に対し、自転車運転時の交通法規の周知やマナー向上を訴えるポスターやルールブックなどが数多く制作されている。このような作品は、赤、黒、黄色を多用してごてごて

した騒がしいデザインになりがちだが、このルールブックは明瞭な色使いでスッキリまとまっている。罰則と罰金についても大きく書かれ、自転車に乗る側からするとかなり強烈な印象を与えるのでは

ないか。サイズを名刺か免許証サイズにできると携帯してもらいやすくなるかもしれない。

小さく綺麗に畳んで捨てられる箱

光洋紙器株式会社 (東京都) 胡桃澤 淳

講評

箱を捨てるときの簡便さを追求した作品だが、むしろ箱を保管するときに邪魔にならなくて良いかもしれない。捨てるのにはもったいないが、とっておくには

邪魔だし、分解してしまうと後でテープを貼り直すのが面倒といったときに、こんな感じで組めるといい。グラフィック的な部分ではまだ検討の余地があるが、

形も非常に工夫されており、箱としての完成度は高い。ぎりぎりポストに入るくらいのサイズなので、ダンボール版もあれば、かなり需要があるのではないだろうか。

ユニバーサルデザイン地球儀

株式会社マルモ印刷 (香川県) 代表取締役 奥田 章雄

講評

紙製の組み立て式で、置くと地軸の傾きの23.4度に傾く設計になっている角ばった白地の地球儀。自分の好きなように色を塗ることができるが、逆にMUDを

意識して配色を考えるとかなり頭を悩ますことになるのではないかと。国ごとに大きさも違えば、形も違うので、色彩への知識とセンスが問われることになる。市販

されている作品なので、MUDを学び始めた人には是非挑戦してもらいたい。

重要事項説明書

音羽印刷株式会社 (東京都) プリプレス課

講評

保険の重要事項の説明書。色文字の太さや行間といった部分ではまだ改善の余地があるものの、いろいろな制約の中で、1頁ずつ項目が分かれるようにして、

つぎの頁にまたがらないように工夫していたり、保険の種類によってページの色合いを変えたりといった、努力して作っているのが分かる作品。クライアントとの関係上

難しいかもしれないが、こういう作品こそ、改善前の説明書と改善後の説明書のビフォーアフターの比較プレゼンができると、非常に説得力があるはず。

外国人観光客の困ったを解決！指さしコミュニケーション

広和印刷株式会社 (岡山県) 中谷 博之、坂越 生章、武内 繭、光岡 菜々子、黒江 ひとみ、小原 尚之、前田 紗希、渡邊 菜月

講評

英語が通じないことは、来日した外国人観光客が不満に感じることのひとつであり、コミュニケーションツールを意図した冊子等の作品はこれまでに多くの応募があった。この作品では、簡単なことはこの

パンフレットで、難しいことは『英語が話せる人はいませんか』と周りに助けを呼ぶことにして割り切り、内容をクリアにしている。また、パスポートサイズで何かあったときにパツと出して使えるという

ところも良いアイデアで、色合いも綺麗である。裏面に大きく書かれた“Help Me”が何ともユニークかつ実用的だ。

災害発生時におけるドライバーズハンドブック

株式会社野毛印刷社 (神奈川県) 制作係

講評

東日本大震災において、運転中の被災や自動車避難を行った人が多かった事実を受けて作成された、ドライバー向けの災害時ハンドブック。連絡先記入用の

シールとペンをセットにするなど震災での経験をふんだんに取り入れて制作された作品である。この作品のような防災関連の冊子等では共通フォーマットにしている

との意識があるのか、黄色を多用していることが多いが、黄色が多すぎると高齢者には目が疲れて読みにくくなる傾向もあるので、制作にあたっては注意が必要である。

「見やすい」電気料金領収証

芝浦工業大学(埼玉県) 上原 菜月

講評

色数は増やさずに、色使いや大きさ、人間の視線の動きに注目し、デザインだけで見やすくしているかなり考えられた作品。今まで気に留めず見難いまま使って

いたものを見つけて、それを改善するデザインを提案してくれたのが良い。本来これくらいの工夫があって当然であり、学生でもできるものをなぜ事業者ができて

いないのか。電力も自由化している中、各事業者に提案していける出来映えである。

変色カレンダー

芝浦工業大学(埼玉県) 立野 葵衣

講評

カレンダーの文字部分を繰り抜き、後ろから朱、水色、黒の3色の短冊とシールを差し込むことで使用者のスケジュールに合わせて日付の色が変えられるという

コンセプト作品。カレンダーは、土曜日が青、日曜日と祝日は赤で印刷されるのが一般的である。土日祝は基本的に休日という人が多いこともあって、色付きの日

=休日と認識しがちである。この作品はその認識に上手く沿って、土日以外のさまざまな曜日が休みの人にも使いやすい提案をしている。

Tellcohol

芝浦工業大学(山梨県) 上田 陽平

講評

アルコールが濃いか薄いかを色とマークで示す作品。最近の酒はアルコール度数と共に「これはお酒です」といった表示があるが、ラベルのデザインの中に

まぎれてしまっていて見つけにくいことも多い。それに比べるとこの作品の方がはるかに分かりやすい。さらにノンアルコール飲料と清涼飲料水を区別するための

アルコール0%の表示を設け、炭酸が苦手な人のために炭酸入りかどうかもわかるようにするなど、まさにユニバーサルデザインである。

やさしい絵の具

大阪市立デザイン教育研究所(大阪府) 南野 果央

講評

絵の具は普通チューブに文字と色が着けられ中の色がわかるようになっているが、色覚障がい者には同系統の色に見えてしまうことがある。この作品では、色の

違いを認識してもらうために子供が絵本等で目にしやすいマークをチューブに加えている。

CoCoro suku suku ココロスクスク

静岡デザイン専門学校(静岡県) 鍵山 アディアル 潤

講評

「友達が困っていたら助けてあげる」等の目標が書かれたカードを引いてもらい、その日に実行してもらう啓発系の作品。内容は小学生低学年向けだがデザインはどちらかというと中高校生向けで、ひらがな

やイラストの多用、カードの使いせりなどの点では検討の余地があるが、カードは表裏で材質を変えてあるなど、よく作り込まれている。

The9th
MEDIA
UNIVERSAL
DESIGN
COMPETITION

発行：2016年5月23日

発行者：全日本印刷工業組合連合会／教育・研修委員会

発行所：全日本印刷工業組合連合会

〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8

Tel.03-3552-4571 Fax.03-3552-7727 [URL] <http://www.aj-pia.or.jp/>

※本書内容の無断掲載・転載および不正使用は固くお断りいたします。

※本書によって発生した問題・トラブルに対してはいかなる場合においても一切の責任を負いかねます。

この印刷物はCSRに取り組む印刷会社が、FSC® 森林認証紙にノンVOCインキ(石油系溶剤0%)など印刷資材と製造工程が環境に配慮されているグリーンプリンティング認定工場で印刷しています。また、メディアのユニバーサルデザインを推進するNPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会が「より多くの方が使いやすい見やすいメディア」として認めた印刷物です。

